



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社システムリサーチ
コード番号 3771

上場取引所 東

URL <http://www.sr-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 敏行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画広報室 (氏名) 小池 貴司 (TEL) (052)-413-6820

ゼネラルマネージャー

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家およびアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,255	18.0	134	7.0	130	12.5	84	22.7
25年3月期第2四半期	3,604	6.4	125	90.8	116	78.2	69	104.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 83百万円 (21.2%) 25年3月期第2四半期 69百万円 (105.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	40 58	—
25年3月期第2四半期	33 07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,470	2,391	43.6
25年3月期	5,431	2,412	44.3

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 2,388百万円 25年3月期 2,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	50 00	50 00
26年3月期	—	0 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	50 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,556	12.1	564	51.8	554	51.9	343	51.3	164 30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社 ()、除外 —社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期2Q	2,090,000株	25年3月期	2,090,000株
26年3月期2Q	238株	25年3月期	209株
26年3月期2Q	2,089,770株	25年3月期2Q	2,089,791株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成25年11月13日(水)に投資家およびアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	
(1) 生産実績	11
(2) 外注実績	11
(3) 仕入実績	11
(4) 受注実績	12
(5) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀が発表した平成25年9月の短観（企業短期経済観測調査）によれば、大企業製造業における業況判断指数（D I）はプラス12ポイントとなり、6月の前回調査から8ポイント上昇しました。改善は3四半期（9か月）連続で、リーマン・ショック後で最も高い数値となりました。また、自動車は、政府の経済政策「アベノミクス」による円安・株高を背景に、輸出が持ち直したことや企業の業績改善が続いていることもあり、プラス27ポイント（6月の前回調査から11ポイント上昇）となり大幅な改善となりました。

一方、当社グループが属する情報サービス業界におきましては、経済産業省より発表された「特定サービス産業動態統計」によると、平成25年8月の情報サービス業の売上高合計は、前年同月比0.6%増と2か月ぶりの増加となりました。主力の「受注ソフトウェア」は同2.0%減少、「ソフトウェアプロダクト」は同12.7%増加、「システム等管理運営受託」は同2.6%増加となりました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、日銀による異次元緩和がもたらした円安効果で、自動車関連製造業など当社主要顧客からのIT投資需要が回復しており、企業の基幹システム構築を中心とするSIサービス業務の売上高は、2,270,730千円（前年同期比24.9%増）となりました。ソフトウェア開発業務においては、既存顧客からの継続受注を安定的に確保でき堅調に推移したことから、売上高は、1,580,822千円（前年同期比9.2%増）となりました。ソフトウェアプロダクト業務におきましては、Windows XP（マイクロソフト社のOS（基本ソフト））サポート終了告知、消費税改正によるソフトウェアリプレイス市場の活性化などにより、売上高は、310,919千円（前年同期比16.9%増）、商品販売では、パソコンやネットワーク機器などで89,810千円（前年同期比27.0%増）、その他のWEBサイトの運営などでは2,793千円（前年同期比23.4%減）となりました。

利益面におきましては、顧客のIT投資が回復傾向にあることなどから、SE稼働率が向上しております。また、経費削減策、プロジェクト原価管理の徹底などの取り組みを継続し利益確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高4,255,076千円（前年同期比18.0%増）、営業利益134,305千円（前年同期比7.0%増）、経常利益130,969千円（前年同期比12.5%増）、四半期純利益84,818千円（前年同期比22.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況の分析

総資産は、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金、仕掛品の増加などにより、前連結会計年度末に比べ38,693千円増加し、5,470,343千円となりました。

負債は、短期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ59,385千円増加し、3,078,450千円となりました。

純資産は、剰余金の配当を行ったことにより、前連結会計年度末に比べ20,692千円減少し、2,391,892千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動による220,282千円減少および投資活動による56,536千円減少に対し、財務活動により90,247千円増加した結果、四半期末残高は1,589,342千円（前連結会計年度末比186,571千円減）となりました。

また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動による資金につきましては、売上債権の増加額142,466千円（前年同期比454,037千円減）や、たな卸資産の増加額111,452千円（前年同期比22,630千円減）などが、仕入債務の増加額37,456千円（前年同期比71,946千円増）を上回ったことなどにより、220,282千円の減少（前年同期比468,425千円減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動による資金につきましては、有形固定資産の取得による支出19,157千円（前年同期比7,252千円減）や無形固定資産の取得による支出37,378千円（前年同期比6,280千円減）などにより、56,536千円の減少（前年同期比13,532千円減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動による資金につきましては、長・短期借入れによる収入930,000千円（前年同期比50,000千円増）が長・短期借入金の返済による支出735,216千円（前年同期比16,451千円増）および配当金の支払額104,489千円（前年同期と同額）を上回ったため、90,247千円の増加（前年同期比69,011千円増）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計上すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,811,106	1,624,535
受取手形及び売掛金	1,512,584	1,639,414
商品及び製品	7,845	9,477
仕掛品	113,356	223,176
貯蔵品	4,952	4,952
その他	212,275	222,888
貸倒引当金	△150	△162
流動資産合計	3,661,969	3,724,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	618,144	602,802
土地	604,806	604,806
その他（純額）	22,268	21,648
有形固定資産合計	1,245,219	1,229,258
無形固定資産		
ソフトウェア	267,909	258,013
その他	8,810	8,716
無形固定資産合計	276,719	266,729
投資その他の資産	247,741	250,071
固定資産合計	1,769,680	1,746,059
資産合計	5,431,650	5,470,343

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,236	300,021
短期借入金	—	192,000
1年内返済予定の長期借入金	766,778	796,936
未払法人税等	78,275	56,886
賞与引当金	388,634	359,278
受注損失引当金	3,894	—
その他	611,460	488,204
流動負債合計	2,111,279	2,193,326
固定負債		
長期借入金	695,201	667,827
退職給付引当金	198,619	203,331
その他	13,965	13,965
固定負債合計	907,785	885,123
負債合計	3,019,064	3,078,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,150	550,150
資本剰余金	517,550	517,550
利益剰余金	1,336,727	1,317,056
自己株式	△180	△227
株主資本合計	2,404,246	2,384,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,010	3,782
その他の包括利益累計額合計	4,010	3,782
少数株主持分	4,328	3,581
純資産合計	2,412,585	2,391,892
負債純資産合計	5,431,650	5,470,343

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	3,604,408	4,255,076
売上原価	2,866,424	3,462,986
売上総利益	737,984	792,090
販売費及び一般管理費	612,528	657,784
営業利益	125,455	134,305
営業外収益		
受取利息	16	22
受取配当金	203	211
助成金収入	—	3,410
その他	1,035	553
営業外収益合計	1,255	4,197
営業外費用		
支払利息	9,186	7,403
その他	1,164	131
営業外費用合計	10,351	7,534
経常利益	116,359	130,969
特別損失		
固定資産除却損	301	10
特別損失合計	301	10
税金等調整前四半期純利益	116,058	130,958
法人税等	46,935	46,887
少数株主損益調整前四半期純利益	69,122	84,071
少数株主損失(△)	—	△747
四半期純利益	69,122	84,818

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,122	84,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	△227
その他の包括利益合計	29	△227
四半期包括利益	69,152	83,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,152	84,591
少数株主に係る四半期包括利益	—	△747

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	116,058	130,958
減価償却費	72,917	72,117
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,829	△29,355
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,894
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,515	4,712
売上債権の増減額 (△は増加)	311,571	△142,466
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△88,822	△111,452
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,490	37,456
その他	34,455	△103,341
小計	394,375	△145,266
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△137,006	△67,771
その他	△9,225	△7,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	248,143	△220,282
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,905	△19,157
無形固定資産の取得による支出	△31,097	△37,378
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,004	△56,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	480,000	480,000
短期借入金の返済による支出	△288,000	△288,000
長期借入れによる収入	400,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△463,667	△447,216
リース債務の返済による支出	△2,607	—
自己株式の取得による支出	—	△46
配当金の支払額	△104,489	△104,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,235	90,247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	226,374	△186,571
現金及び現金同等物の期首残高	1,673,887	1,775,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,900,262	1,589,342

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	生産高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2,397,685	126.3
ソフトウェア開発業務	1,580,822	109.2
ソフトウェアプロダクト業務	314,375	118.6
その他	2,793	76.6
合計	4,295,676	118.8

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 外注実績

当第2四半期連結累計期間における外注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	外注高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	971,056	170.5
ソフトウェア開発業務	411,180	116.1
ソフトウェアプロダクト業務	22,006	117.1
その他	2,141	36.9
合計	1,406,385	148.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における仕入実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	仕入高(千円)	前年同期比(%)
商品販売	65,971	113.3

- (注) 1 金額は、仕入価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(4) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)			
	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
S I サービス業務	2, 593, 622	116. 7	968, 650	108. 6
ソフトウェア開発業務	1, 663, 403	104. 4	364, 621	87. 3
ソフトウェアプロダクト業務	308, 535	99. 0	55, 598	75. 1
商品販売	94, 261	137. 8	10, 554	74. 1
合計	4, 659, 823	111. 0	1, 399, 424	100. 1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を業務区分別に示すと、次のとおりであります。

業務区分	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	販売高(千円)	前年同期比(%)
S I サービス業務	2, 270, 730	124. 9
ソフトウェア開発業務	1, 580, 822	109. 2
ソフトウェアプロダクト業務	310, 919	116. 9
商品販売	89, 810	127. 0
その他	2, 793	76. 6
合計	4, 255, 076	118. 0

(注) 1 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
(株)トヨタコミュニケーションシステム	487, 822	13. 5	486, 062	11. 4
(株)富士通システムズ・ウエスト	—	—	444, 069	10. 4

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 前第2四半期連結累計期間の(株)富士通システムズ・ウエストについては、当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。